

第137回珠算・電卓実務検定試験

(2018. 11. 11)

第1級 ビジネス計算部門 (制限時間 ①・②合わせて30分)

- (注意) I. 減価償却費・複利・複利年金の計算については、別紙の数表を用いること。
 II. 答えに端数が生じた場合は()内の条件によって処理すること。
 III. 選択問題は、A・B・Cのいずれか/項目を選択して解答すること。
 2項目以上解答した場合は、選択問題すべてを無効とする。

① 共通問題

(1) ¥7,940,000を年利率1.9%の単利で3月23日から6月5日まで貸し付けた。利息はいくらか。(片落とし、円未満切り捨て)

答 _____

(2) 9月7日満期、額面¥874,000の手形を割引率年4.65%で7月2日に割り引くと、割引料はいくらか。(両端入れ、円未満切り捨て)

答 _____

(3) 5年6か月後に支払う負債¥2,820,000の複利現価はいくらか。ただし、年利率4%、半年/期の複利とする。(円未満4捨5入)

答 _____

(4) 10米ガロンにつき\$463.30の商品を50L建にすると円でいくらか。ただし、1米ガロン=3.785L、\$1=¥109.60とする。

(計算の最終で円未満4捨5入)

答 _____

(5) 取得価額¥9,580,000 耐用年数18年の固定資産を定額法で減価償却すれば、第9期首帳簿価額はいくらになるか。ただし、決算は年/回、残存簿価¥/とする。

答 _____

(6) ¥5,260,000を年利率4.5%、1年/期の複利で14年間貸し付けると、期日に受け取る元利合計はいくらになるか。(円未満4捨5入)

答 _____

(7) ある商品に原価の4割2分の利益を見込んで定価をつけたが、定価から¥3,379,600値引きして販売したところ、売価が¥6,276,400となった。損失額は原価の何分何厘か。

答 _____

(8) 額面¥1,600,000の約束手形を割引率年3.15%で12月17日に割り引くと、手取金はいくらか。ただし、満期は翌年2月25日とする。

(両端入れ、割引料の円未満切り捨て)

答 _____

(9) ¥3,450,000を単利で1年/か月間借り入れたところ、期日に元利合計¥3,547,175を支払った。利率は年何パーセントであったか。パーセントの小数第1位まで求めよ。

答 _____

(10) 8年9か月後に支払う負債¥970,000を年利率5%、1年/期の複利で割り引いて、いま支払うとすればその金額はいくらか。ただし、端数期間は真割引による。(計算の最終で¥100未満切り上げ)

答 _____

(11) 3月26日満期、額面¥591,380の手形を1月4日に割引率年5.35%で割り引くと、手取金はいくらか。ただし、手形金額の¥100未満には割引料を計算しないものとする。

(平年、両端入れ、割引料の円未満切り捨て)

答 _____

(12) 仲立人が売り主から2.5%、買い主から2.4%の手数料を受け取る約束で商品の売買を仲介したところ、買い主の支払総額が¥3,614,720となった。仲立人の受け取った手数料の合計額はいくらか。

答 _____

(13) 次の3口の借入金の利息を積数法によって計算すると、元利合計はいくらになるか。ただし、いずれも期日は10月16日、利率は年4.1%とする。

(片落とし、円未満切り捨て)

借入金額	借入日
¥4,200,000	7月13日
¥3,200,000	8月20日
¥1,500,000	9月3日

答 _____

(14) 1本につき¥6,500の商品を45ダース仕入れ、諸掛り¥190,000を支払った。この商品に諸掛込原価の34%の利益を見込んで定価をつけたが、全体の半分は定価の15%引きで販売し、残り全部は定価から¥446,220値引きして販売した。この商品全体の利益額はいくらか。

答 _____

(15) 取得価額¥860,000 耐用年数24年の固定資産を定率法で減価償却するとき、次の減価償却計算表の第4期末まで記入せよ。ただし、決算は年/回、残存簿価¥/とする。(每期償却限度額の円未満切り捨て)

期数	期首帳簿価額	償却限度額	減価償却累計額
1			
2			
3			
4			

正答数	① 共通問題得点
(×5)	

試験場校	
受験番号	

正答数	総得点
(×5)	

② 選択問題

【選択A】 【複利年金の計算】

(16) 毎半年末に等額ずつ積み立てて、3年6か月後に¥6,300,000を得たい。年利率5%, 半年/期の複利とすれば、毎期の積立金はいくらになるか。(円未満4捨5入)

答 _____

(17) 毎年初めに¥190,000ずつ13年間支払う負債を、いま一時に支払えば、その金額はいくらか。ただし、年利率6%, 1年/期の複利とする。(円未満4捨5入)

答 _____

(18) ¥8,500,000を年利率5.5%, 1年/期の複利で借り入れた。これを毎年末に等額ずつ支払って3年間で完済するとき、毎期の年賦金はいくらになるか。(円未満4捨5入)

答 _____

(19) 毎半年末に¥420,000ずつ4年6か月間支払う年金の終価はいくらか。ただし、年利率4%, 半年/期の複利とする。(円未満4捨5入)

答 _____

(20) 毎年末に等額ずつ積み立てて、8年後に¥710,000を得たい。年利率4.5%, 1年/期の複利として、次の積立金表の第4期末まで記入せよ。(積立金および每期積立金利息の円未満4捨5入)

期数	積立金	積立金利息	積立金増加高	積立金合計高
1				
2				
3				
4				

【選択B】 【証券投資の計算】

(16) 次の株式の利回りは、それぞれ何パーセントか。(パーセントの小数第1位未満4捨5入)

銘柄	配当金	時価	利回り
D	/株につき年 ¥3.60	¥193	
E	/株につき年 ¥8.40	¥395	
F	/株につき年 ¥79.00	¥2,160	

(17) ある株式を/株につき¥4,836で7,000株買い入れた。支払総額はいくらか。ただし、約定代金の0.2754%に¥80,780を加えた手数料を支払うものとする。(円未満切り捨て)

答 _____

(18) 7年後に償還される1.4%利付社債の買入価格が¥98.45のとき、単利最終利回りは何パーセントか。(パーセントの小数第3位未満切り捨て)

答 _____

(19) 2.2%利付社債、額面¥5,400,000を8月6日に市場価格¥99.15で買入れると、支払代金はいくらか。ただし、利払日は4月15日と10月15日である。(経過日数は片落とし、経過利子の円未満切り捨て)

答 _____

(20) 株式を次のとおり売却した。手取金の総額はいくらか。(それぞれの手数料の円未満切り捨て)

銘柄	約定値段	株数	手数料
G	/株につき ¥768	4,000株	約定代金の0.8316% + ¥4,299
H	/株につき ¥3,920	6,000株	約定代金の0.5616% + ¥24,279

答 _____

【選択C】 【経営分析の計算】

(16) 次の資料から、流動比率を求めよ。(パーセントの小数第1位未満4捨5入)

貸借対照表 (単位: 千円)			
現金預金	33,098	支払手形	21,831
受取手形	27,406	買掛金	12,370
売掛金	10,825	短期借入金	()
有価証券	8,573	社債	3,568
商品	951	退職給付引当金	764
短期貸付金	4,175	資本金	36,580
前払金	2,492	資本準備金	2,962
建物	9,134	利益準備金	1,478
機械装置	607	繰越利益剰余金	8,693
	()		()

答 _____

(17) 次の資料から、商品回転率を求めよ。なお、商品有高は平均によること。(回転率の小数第1位未満4捨5入)

売上原価	¥32,630,000
受取手形	¥1,945,000
期首商品棚卸高	¥5,603,000
期末商品棚卸高	¥4,239,000

答 _____

(18) 次の資料から、自己資本利益率を求めよ。(パーセントの小数第1位未満4捨5入)

資本金	¥90,284,000
資本剰余金	¥7,129,000
利益剰余金	¥10,453,000
(うち当期純利益)	¥8,793,000

答 _____

(19) 次の損益分岐点に関する資料から、目標営業利益¥4,092,000を達成するときの売上高を求めよ。

売上高	¥42,160,000
変動費	¥24,769,000
固定費	¥17,391,000

答 _____

(20) 次の資料から、売上高純利益率を求めよ。ただし、売上原価率は68.8%であった。(パーセントの小数第1位未満4捨5入)

損益計算書 (単位: 千円)			
期首商品棚卸高	5,067	売上高	()
当期商品仕入高	60,534	期末商品棚卸高	7,293
()	()		()
	()		()
販売費・一般管理費	24,861	()	()
営業外費用	894	営業外収益	910
当期純利益	()		()
	()		()

答 _____

試験場校	
受験番号	

正答数	② 選択問題得点
(×5)	